



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL <https://toho-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 川崎 正一 (TEL) 03-5550-3735

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	13,231	4.8	410	—	449	—	516	—
2024年3月期第1四半期	12,627	△3.6	△34	—	△26	—	△31	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 948百万円(96.6%) 2024年3月期第1四半期 482百万円(50.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	24.57	—
2024年3月期第1四半期	△1.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	70,492	19,751	27.9
2024年3月期	69,936	19,160	27.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 19,668百万円 2024年3月期 19,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,700	3.0	620	141.2	530	147.3	530	301.9	25.20
通期	52,500	3.8	1,300	68.6	1,100	47.9	940	72.0	44.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	21,350,000株	2024年3月期	21,350,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	321,992株	2024年3月期	321,992株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	21,028,008株	2024年3月期1Q	21,028,009株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、設備投資には持ち直しの動きがみられたものの、物価高を受けて個人消費が伸び悩むなど、景気は足踏みの状況となりました。世界経済においては、世界的な金融引き締めの影響や中国経済の回復の遅れ、地政学リスクの高まりなど数多くの懸念材料があり、先行きは不透明な状況が続いております。

化学業界におきましては、半導体市況が上向き始めたことにより半導体市場向け製品の販売が回復基調に転じるなどの好材料はあるものの、中国の景気低迷による影響や円安に伴う原材料価格・エネルギー価格の上昇などのマイナス要因もあり、厳しい状況が続いております。

このような経営環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、国内と海外との原料調達価格差が拡大する中、香粧原料の大口ユーザーが当社製品から安価な輸入品に調達を切り替え、同社向け販売が大幅減となった一方、半導体市況の回復に伴う電子情報産業用の微細加工用樹脂の大幅な増収、加えて石油添加剤等の販売回復により、前年同期比603百万円、4.8%増収の13,231百万円となりました。

損益面につきましては、増収による収益効果に加え、売上構成の変化等に伴う利益率の改善により、営業利益は410百万円、経常利益は449百万円となりました。また、投資有価証券売却益の発生もあり親会社株主に帰属する四半期純利益は516百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(界面活性剤)

香粧原料は、一般洗剤の大口ユーザー向け販売の減少により約6億円の大幅な減収となりました。プラスチック用添加剤は、国内向け販売がやや回復したほか、中国での販売が伸長し増収となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート用関連薬剤の販売が振るわず減収となりました。農薬助剤は、国内向け販売がやや回復し、増収となりました。繊維助剤は、中国における販売数量は減少したものの、製品売価の上昇および国内における販売がやや回復したことにより増収となりました。紙パルプ用薬剤は、サイズ剤等の販売が振るわず減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比641百万円、8.9%減収の6,594百万円となり、セグメント利益は、売上構成の変化等に伴う利益率の改善により前年同期比101百万円増益の111百万円となりました。

(樹脂)

石油樹脂は、原料不足による減産は続いているものの、前年同期と比べると状況は改善しており、減産幅が縮小したことから増収となりました。合成樹脂は、断熱フォーム用ウレタン樹脂等の需要回復により増収となりました。樹脂エマルションは、フローポリッシュ用等の販売が振るわず減収となりました。アクリレートは、中国における電子情報材料関連の需要がやや回復し増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比172百万円、19.0%増収の1,079百万円となり、セグメント損益は、9百万円の損失（前年同期は47百万円の損失）となりました。

(化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、国内の自動車関連需要が落ち込み減収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油剤等の需要回復により増収となりました。石油添加剤は、海外向けの販売が回復し、増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比253百万円、18.3%増収の1,644百万円となり、セグメント利益は、50百万円（前年同期は10百万円の損失）となりました。

(スペシャリティーケミカル)

溶剤は、ブレーキ液基剤等で販売数量は減少したものの、製品売価の上昇により増収となりました。電子情報産業用の微細加工用樹脂は、半導体市況の回復に伴い大幅な増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比830百万円、27.1%増収の3,898百万円となり、セグメント利益は、前年同期比89百万円増益の214百万円となりました。

なお、上記の各セグメント利益又は損失の前年同期比の数値は、後記P. 8(セグメント情報等の注記)「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」の表における「報告セグメント」の比較情報です。

その他に、各セグメントに帰属しない調整額(棚卸資産の調整額等)が51百万円(前年同期は△107百万円)あります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、70,492百万円と前期末比555百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が582百万円増加の38,708百万円、固定資産が26百万円減少の31,784百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が428百万円の増加、受取手形及び売掛金が412百万円の増加、棚卸資産が241百万円の減少です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が285百万円の増加、投資その他の資産が306百万円の減少です。

負債合計は、50,741百万円と前期末比35百万円の減少となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が119百万円の減少、短期借入金が424百万円の増加、賞与引当金が361百万円の減少、設備関係支払手形の増加を主因とするその他(流動負債)が123百万円の増加、長期借入金が105百万円の減少です。

純資産は、19,751百万円と前期末比591百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益と配当金の支払いとの差額等により159百万円の増加、その他の包括利益累計額が、その他有価証券評価差額金が195百万円減少した一方で為替換算調整勘定が611百万円増加したことなどにより426百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は27.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日の「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,754	7,183
受取手形及び売掛金	14,297	14,709
棚卸資産	16,039	15,797
その他	1,042	1,026
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	38,126	38,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,167	13,279
機械装置及び運搬具（純額）	5,076	5,072
土地	3,145	3,145
建設仮勘定	429	689
その他（純額）	2,527	2,444
有形固定資産合計	24,347	24,632
無形固定資産	1,158	1,152
投資その他の資産	6,305	5,999
固定資産合計	31,810	31,784
資産合計	69,936	70,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,321	9,201
短期借入金	10,581	11,005
1年内償還予定の社債	300	300
未払法人税等	85	80
契約負債	5	11
賞与引当金	597	235
その他	4,415	4,539
流動負債合計	25,306	25,374
固定負債		
社債	1,700	1,700
長期借入金	15,569	15,463
退職給付に係る負債	6,367	6,434
資産除去債務	69	70
その他	1,763	1,698
固定負債合計	25,469	25,367
負債合計	50,776	50,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	12,202	12,361
自己株式	△163	△163
株主資本合計	14,691	14,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,662	2,466
為替換算調整勘定	2,100	2,711
退職給付に係る調整累計額	△371	△360
その他の包括利益累計額合計	4,391	4,817
非支配株主持分	77	83
純資産合計	19,160	19,751
負債純資産合計	69,936	70,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	12,627	13,231
売上原価	11,141	11,276
売上総利益	1,486	1,954
販売費及び一般管理費	1,520	1,544
営業利益又は営業損失(△)	△34	410
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	58	58
為替差益	11	45
物品売却益	15	15
その他	18	24
営業外収益合計	104	149
営業外費用		
支払利息	76	90
その他	20	19
営業外費用合計	96	110
経常利益又は経常損失(△)	△26	449
特別利益		
投資有価証券売却益	-	245
特別利益合計	-	245
特別損失		
固定資産廃棄損	14	9
特別損失合計	14	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△40	685
法人税等	△6	168
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34	517
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△31	516

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34	517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	392	△195
為替換算調整勘定	115	616
退職給付に係る調整額	9	10
その他の包括利益合計	516	431
四半期包括利益	482	948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	484	942
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシヤ リティー ケミカル	計				
売上高									
日本	6,328	761	843	2,958	10,892	11	10,903	—	10,903
アジア	793	141	396	103	1,435	14	1,449	—	1,449
その他	113	3	151	5	273	0	274	—	274
顧客との契約から生じる収益	7,235	907	1,390	3,067	12,601	26	12,627	—	12,627
外部顧客への売上高	7,235	907	1,390	3,067	12,601	26	12,627	—	12,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	28	28	△28	—
計	7,235	907	1,390	3,067	12,601	54	12,655	△28	12,627
セグメント利益又は損失(△)	10	△47	△10	124	77	△3	73	△107	△34

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△107百万円には、棚卸資産の調整額△117百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシヤ リティー ケミカル	計				
売上高									
日本	5,531	860	812	3,779	10,983	12	10,996	—	10,996
アジア	953	219	520	100	1,794	1	1,795	—	1,795
その他	108	0	310	19	439	0	439	—	439
顧客との契約から生じる収益	6,594	1,079	1,644	3,898	13,217	14	13,231	—	13,231
外部顧客への売上高	6,594	1,079	1,644	3,898	13,217	14	13,231	—	13,231
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	25	25	△25	—
計	6,594	1,079	1,644	3,898	13,217	39	13,256	△25	13,231
セグメント利益又は損失(△)	111	△9	50	214	367	△8	358	51	410

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額51百万円には、棚卸資産の調整額25百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	752百万円	693百万円